

大麦管理特報

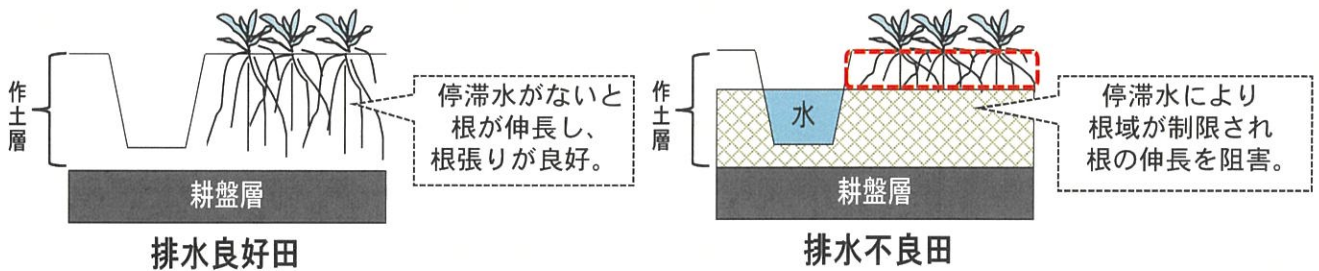
第2号

令和8年4月上旬
魚津市
魚津市農業技術者協議会

気温が高く推移しており、平坦地の出穂期は4月15日頃から始まるとみられます。開花が始まると赤かび病のリスクが高まるため、確実に適期防除し、品質を確保しましょう。

1 排水対策の徹底

降雨や隣接ほ場からの漏水などの水がほ場内に停滞しないよう排水溝を手直しするとともに、水吐尻の連結と排水口の掘り下げにより、湿害の発生を防止しましょう。



2 赤かび病の防除

散布方法	1回目	2回目
管理機	トップジンM水和剤 1000倍 150ℓ/10a	ワークアップフロアブル 2000倍 150ℓ/10a
ラジヘリ ドローン	トップジンMゾル 8倍 0.8ℓ/10a	ワークアップフロアブル 16倍 0.8ℓ/10a

注) 他の作物に農薬が飛散しないよう注意して散布しましょう。

◆防除時期の目安

1回目(穂揃期): 4月18日 ~ 4月20日頃

2回目: 1回目の7日後

注) 経営体内で生育にバラつきがある場合は、生育に応じて実施願います。

3 雑草種子の混入防止

「カラスノエンドウ」や「ハマダイコン」などの種子が大麦に混入すると、選別が困難です。ほ場内で見かけたら速やかに抜き取るとともに、畦畔周辺の草刈りや除草剤の散布を行い、ほ場内への侵入を防ぎましょう。

ハマダイコン

